

医療保険のマメ知識



米国日本生命シカゴ支店
荒木 大輔

米国日本生命シカゴ支店

事業内容：米国内日系企業及び米国企業の皆様に、団体医療保険を中心とする幅広い保険商品・サービスを提供しております。お客様の様々なご要望にお応えする柔軟な商品設計と、ニッセイならではのきめ細かいサービス・サポート体制を通じて、米国最先端の団体医療保険をご提供いたします。また、医療費請求（Claim）、保険料請求（Billing）、加入されている保険プランの内容等のご質問に対し、日本語でお気軽にお問い合わせいただける、「日本語カスタマーサービスライン」をご用意しております。

連絡先

Tel: 312-807-1120
d-araki@nipponlifebenefits.com
www.nipponlifebenefits.com

破産理由の第一位 ～「高い」アメリカの医療費～

「アメリカの医療費は高い」そのような言葉を耳にされた方も多いかと思います。OECD（経済協力開発機構）によると、米国の国民一人当たりの年間医療関連支出額はOECD諸国の中で最も高く、OECD諸国平均の2.7倍、また、日本の2.2倍となっています。（図1参照）

高額の医療費は米国民の生活にも重くのしかかっており、「医療費」が自己破産の第一の理由となっています。Kaiser Family Foundationの報告書によると、国民の約3人に一人が「医療費の支払いが負担となっている（全く支払えない・分割で支払い）」と回答したということです。

こうしたことから、医療費に関連した大きな経済的負担に備えるためにも、医療保険に加入し、保険の仕組みについてよく理解しておくことが重要になります。

医療保険には様々な種類がありますが、本稿では、PPOタイプの保険に基づいて、利用にあたってのポイントを説明いたします。なお、保険プランの仕組み・内容・条件等については、州法やプランを提供する医療保険会社によって異なりますので、予めご了承ください。

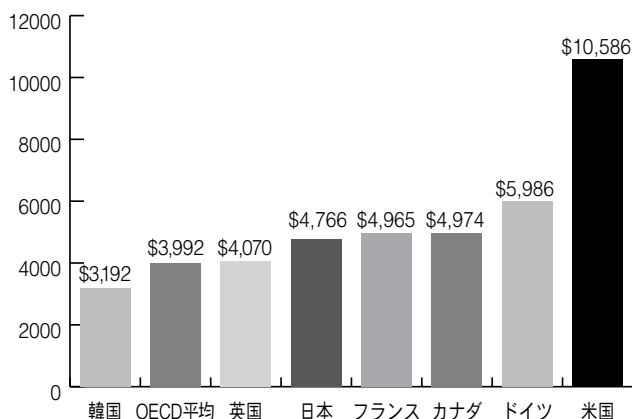
ネットワーク内の医療機関を利用する
メリットを知ろう

保険会社が、医師、専門医、病院、検査機関、薬局などの医療機関と契約してネットワークを形成したものをPPOといいます。通常、ネットワーク内の医療機関を利用した場合、保険会社と医療機関が事前に取り決めた割引が保険対象となる医療サービスの支払いに適用されます。ネットワーク外の医療機関を利用することも可能ですが、ネットワーク内の医療機関とは異なり、事前に取り決めた割引が適用さ

れませんので、通常、保険加入者の自己負担が高くなります。また、ネットワーク外の医療機関の利用について、Deductible^{*1}、Co-Insurance^{*2}等の保障内容が低く設定されている場合があります。保険加入者は、これらの自己負担分に加え、「医療機関が医療サービスに対する請求額」と「保険会社が保険給付精算の対象とする金額（UCR^{*3}が基準となる場合があります）」の差額を支払う必要があります。（図2参照）

加えて、利用する病院がネットワーク内であっても、病院とそこに勤務する医師が

図1：世界一高い医療水準 一人当たり年間医療費（2018年）



出典：OECD Health Statistics 2019

図2：ネットワーク内・外での自己負担額の違い

自己負担額の計算例 ※Deductibleはすでに控除済みの前提

| | ネットワーク内 | ネットワーク外 |
|--|--|--|
| 医療機関からの請求額 | \$1,000 | \$1,000 |
| ネットワーク割引後金額 または Usual and Customary Rates | \$500 | \$800 |
| 自己負担割合・額 | 10% Co-insurance = \$50 (\$500 x 10%) | 30% Co-insurance = \$240 (\$80 x 30%) |
| 保険適用外 | なし | \$200 (\$1,000 - \$800) |
| 加入者負担額合計 | \$50 請求額の5% | \$440 (\$240 + \$200) 請求額の44% |

出典：FAIR Health社のウェブサイト (<http://www.fairhealth.org/>)を参照し作成。

別のネットワークに属している場合もありますので、注意が必要です。そのため、医療サービスを受ける前に、医師と保険会社に、治療にかかわる医師・医療機関が保険プランのネットワークに加入していることを確認することが大切です。

「かかりつけの医師」を決めましょう

病気や怪我は突発的に起こる場合がありますが、できればその前に備えておきたい点があります。それは自分の「かかりつけの医師」を決めておくということです。医師によっては、初診患者を取らない場合や、すぐに予約が取れない場合がありますので、事前に調べておくとう安心です。また、予約・受診の際に、医師が保険プランのPPOネットワークに加入しているかどうかを確認しましょう。通常、ネットワーク内の医療機関での予防医療サービスは保険加入者の自己負担なく受けることができますので、そのような機会を通じて、医師との関係を築いておくとうよいでしょう。

入院・手術時の注意事項

～事前承認制度～

米国滞在中に、医療機関に入院・手術をすることになる場合、その治療にかかる

医療費は世界の中でも高額です(図3参照)。また、加入の保険プランによっては、緊急時を除き、入院や特定の医療サービスについて事前承認を得る制度(Pre-Authorization)があり、連絡がない場合、保険給付が削減されることもありますので、注意が必要です。これは、医師が指示した治療が患者の症状に合った適切なものであるか、保険会社が医療上の必要性を確認するための制度です。緊急時の場合は適用されないのが通例ですが、入院後一定期限内(一般的に、48時間以内)に、保険会社に連絡することが必要です。

緊急時のもう一つの選択肢

～エージェント・ケア・クリニック～

一刻を争う場合や身体を動かすのが危険だと思われる緊急時には迷わず「911」で救急車を呼びましょう。一方、近年、米国では、エージェント・ケア・クリニックと呼ばれる形態の外来診察機関が増加傾向にあります。一般的にエージェント・ケア・クリニックとは、生命の危機に至るような症状ではないものの、主治医の診察を受けるために治療を翌日まで待つのは難しいような症状の際に、診察を受けられる診療所のことです。エージェント・ケア・クリニックは週7日休まず営業しているものも多く、

一般的なビジネスアワー以外の時間帯にも受診することが可能で、診察までの待ち時間も短く、加えて、ERと比較して、コストが低いことも魅力的です(図4参照)。

しかし、エージェント・ケア・クリニックが全ての症状に対して診察・治療ができるわけではなく、また生命にかかわる症状については、当然エマージェンシー・ルーム(ER)を受診すべきであり、目的や状況に応じて医療機関を選ぶ必要があります。

米国内で生活される皆様にとって、医療保険は身近な存在であるにも関わらず、複雑で分かりにくいというお声をよく耳にします。ただし、保険を正しく理解し、有効に使うことは、医療費による経済的負担を可能な限り抑えるために必要不可欠となります。

当レポートを通じて、皆様の医療保険に対する関心・理解が少しでも深まり、保険を有効に使って頂ければ幸いです。

当資料は一般的な情報を提供することを目的として米国日本生命がご提供しているもので、法律上、会計・税務上、従業員向け福利厚生上、医療上などのいかなる専門的なアドバイスの提供を目的としたものではありません。連邦法・州法は変更する可能性がありますので、最新情報、特定の企業・個人への影響についてのアドバイスは、顧問弁護士にご相談ください。

※1 Deductible: 保険会社から保険金給付が開始される前に、個人が負担する金額。

※2 Co-Insurance: 保険でカバーされる医療サービスにおいて、保険給付精算の対象となる金額に対し、保険会社又は個人が支払う医療費割合(%)のこと。

※3 UCR (Usual Customary, Reasonable): 同じ地域内で同一または類似の医療サービスが一般的に請求されている額を地域毎に設定された医療費の基準額。

図3: 各医療サービスの平均コスト (参考)

| | 米国 | イギリス | ニュージーランド | スイス |
|------------|----------|---------|----------|---------|
| CTスキャン(腹部) | \$800 | \$860 | \$483 | \$383 |
| MRIスキャン | \$1,119 | \$788 | \$811 | \$503 |
| 入院費用 - 盲腸 | \$15,930 | \$8,009 | \$6,199 | \$6,040 |
| - 普通分娩 | \$10,808 | - | - | \$7,751 |
| - 帝王切開 | \$16,106 | - | - | \$9,965 |

出典: International Federation of Health Plans "2015 Comparative Price Report"

図4: エマージェンシー・ルームとエージェント・ケア・クリニックの対比

| | エマージェンシー・ルーム | エージェント・ケア・クリニック |
|------|--|---------------------|
| 営業日 | 毎日 | 85%が毎日営業 |
| 営業時間 | 通常、24時間 | 通常の診療所より長い |
| 症状 | 生死に関わる怪我・病気 | 生死に関わらない怪我・病気 |
| 保険 | ER Co-pay/ER Co-Insurance/ Deductible | Co-pay/Co-Insurance |

※UCAOA, Fair Health, Mount Sinai Hospitalの情報を元に作成